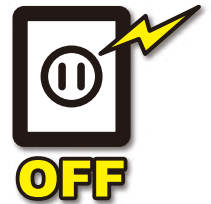


モルテン製エアマットレスをお使いの皆さまへ

停電時の対応に関するお知らせ



< 停電時にエアマットレスが受ける影響 >

一般的にエアマットレスはその構造上、停電などで電力供給が止まった状態では、時間の経過とともにマット内の空気が少しずつ抜け、**体圧分散性が徐々に低下**します。
その結果、**何もしなければ数時間～1日程度で底着き(体がベッドの床板に当たる状態)**し、利用者様にとって苦痛で危険な状態になるおそれがあります。

モルテン製エアマットレスは空気が抜けにくい構造になっていますが、状況に応じて以下のご対応をお願い致します。

底着き防止（空気の抜けを抑える）ための対応

機種	短時間の停電（3時間程度）	長時間の停電（3時間を超える場合）	底着きまでの時間	
			通常時	対策時
ステージア 	圧切替動作はしませんが底着きの心配はありません 空気が抜けにくい構造になっているだけでなく、仮にエア層の空気が抜けても、ウレタン層が底着きを防止するため、停電時間の長さに関わらず特別な対策は不要です。 （停電時の最高の安全性が保てるエアマットレスです）	圧切替動作はしませんが底着きの心配はありません マット最下部の底着き防止層は、より空気が抜けにくい構造になっているため、底着きの心配はありません。（停電時でも利用者様が寝た状態のまま約2週間は底着きしない状態を維持します）	/	/
オスカー （ハイブリッドタイプ） 				
グランデ 	圧切替動作はしませんが底着きの心配はありません 空気が抜けにくい構造になっていますので、短時間停電であれば、若干空気は抜けますが、特別な対策は不要です。	マットカバーを開き、停電用バルブを閉じてください。 停電復旧後は必ず停電用バルブを開いてください。 （停電時でも利用者様が寝た状態のまま約2週間は底着きしない状態を維持します）	約2週間	/
オスカー （エアタイプ） 				
アドバン 	圧切替動作はしませんが底着きの心配はありません 空気が抜けにくい構造になっていますので、短時間停電であれば、若干空気は抜けますが、特別な対策は不要です。	空気抜けを抑えるため、以下の対策を実施してください マット内の空気抜けをさらに抑えることができます。 ①エアホースを折り曲げて、ガムテープなどで固定してください。 ※停電復旧後は必ず、エアホースを元の状態に戻してください。 予め停電実施が分かっている場合は、以下の対策も実施してください。 ②設定を『厚手』や『静止型』モードに変更してください。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> 厚手 静止型 </div>	約1日	約1週間
クレイド 			約3時間	
プライムレボ 			約3時間	約1週間
プライムDX・ST エアサポート スーパー介助マット 			約3時間	約1週間

※底着きまでの時間・・・人が寝た状態での自社検証データ

停電復旧後の安全対策

利用者様の安全性確保のためには、停電中の底着き対策だけでなく、**復旧後に停電前の状態に戻すことも重要です**。特に各種設定項目が元に戻らなければ、利用者様の身体状況に合わない状態で使用することになり、苦痛で危険な状態になるおそれがあります。

モルテン製エアマットレスの安全対策

停電復旧後の再設定は不要です

停電復旧後に各種設定項目が自動的に停電前の状態に復帰する機能を備え、利用者様にとって常に安全な状態を確保しています。